

街道400年

中山道

散策マップ

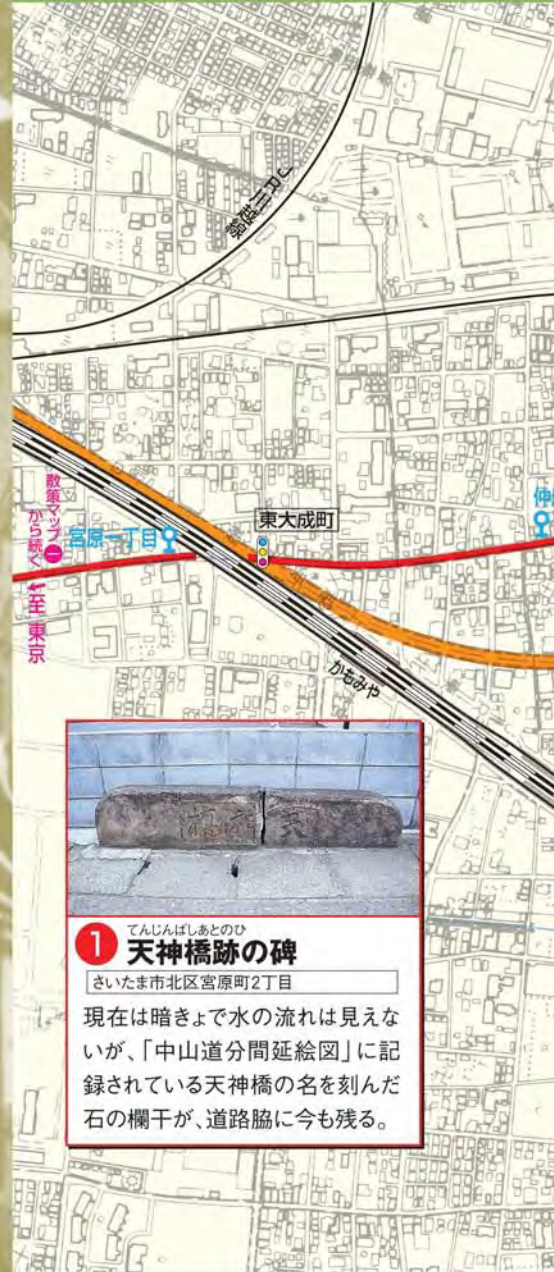


大宮宿
上尾宿
桶川宿



由緒ある名刹が点在 中山道の魅力がいっ

にぎやかな大宮宿を抜けて、川越道や岩槻道など
通の要衝・上尾宿、府川家が治め、紅花の名産地
た桶川宿、宿はないが宿駅が置かれた北本をたどる
ある名刹が多く、多彩な名所をめぐるそぞろ歩きが楽



1 てんじんばしあとのひ 天神橋跡の碑

さいたま市北区宮原町2丁目

現在は暗きよで水の流れは見えないが、「中山道分間延絵図」に記録されている天神橋の名を刻んだ石の欄干が、道路脇に今も残る。

中山道

中山道 歩けるルート

推定ルート

※中山道のルートは時代により変わっています。ここでのルート
※掲載の地図は市町村発行の1/1万を使用(さいたま市1/2万、東

庄し っぱい

が交差する交
としても知られ
るコース。由緒
美しい。



4 かなやまごんげんしゃ
金山権現社
さいたま市北区宮原町4丁目
国道バイパスの下をくぐり、数十m先左手にたたずむ小さな社。少し先にある宮原小学校には、市指定文化財のセンダンの大木がある。



2 てんまんぐう
天満宮
さいたま市北区宮原町4丁目
古びた木造の小さな祠には、学問の神様・菅原道真公が祀られている。現在では受験シーズンには学生の姿が多く見られる。



3 かもしんじや
加茂神社
さいたま市北区宮原町4丁目
「加茂宮」という村の由来にもなり、江戸時代より上尾の名所として親しまれる。見事な「競べくらべ」馬の彫刻は必見だ。



5 みなみかた
南方
さいたま市北区
「五街道中訪社として」に包まれ、と呼ばれ、親

見どころ 名所・旧跡 本町 主要交差点 バス停

国道

は江戸時代末期のものをしてあります。
京都1/2500)

..... 中山道まめ知識

道教に由来する庚申塔
供養塔としての歴史を伝える

中山道はじめ旧道の辻に数多く建つ道標。この信仰は道教の守庚申に由来し、60日ごとに巡る庚申の夜に寝ずに集会を行った講の供養塔として建てられた。地域によっては作物の神や厄除けの神、縁結びの神としての役割も果たす。



6 庚申塔
こうしんとう

上尾市栄町

上尾市に入り、馬喰新田バス停を過ぎると左手に見えてくる道標。「庚申」の文字を刻み、かつての民間信仰を供養する石碑でもある。



7 愛宕神社
あたごしんじや

上尾市愛宕1丁目

明治43年(1910)に東町あたりから移築された。また「中山道分間延絵図」に川越道の常夜燈が移された記録があるが、現存しない。



8 氷川鉾神社
ひかわくわじんじや

上尾市宮本町

かつては御鉾太神社。小鉾をご神体とし、五穀神を祭神とする。明治の時代に「鉾祭り」並び、祀ったのが由来と伝わり、に入り、氷川女体社と改称。現在の名になった。また、朱子と菅原道真公を祀る。跡もある。二賢堂と(1788)に建てられた。



上尾宿

日本橋からの距離 9里16町(約30km)
家数: 182軒
人口: 793人
本陣: 1軒
脇本陣: 3軒
旅籠屋: 41軒



かみかた神社

上尾市吉野町2丁目

「細見独案内」にも縁起よく登場。木々の緑と静けさを感じ、地元では「お諏訪さま」と呼ばれている。



木曾街道 上尾宿 加茂之...
溪斎英泉画。加茂神社前の...
総出で初の精選作業をおこ...



とも呼ばれ、
穀を司る農
神体は、万
として鎌を運
される。明治
を合祀して現
境内には、
祀る二賢堂
は天明8年
学舎。

上尾郵便局

7km)

社
の農家が、一家
になっている。



上尾夏まつり

氷川鎌神社の例大祭として、7月中旬の土曜及び日曜日の2日間行われる。山車や神輿が繰り出され、多くの露店や人出で賑わう。

富士見小

観音堂

上尾中央総合病院

氷川鎌神社

上尾宿

中山道

庚申塔

図書館西

上尾宿案内版

最勝寺

上尾市

遍照院

上尾小

中央小

上尾警察署

上尾市役所

大日堂

緑丘公園

グラウンド



9 遍照院

上尾市上町1丁目

真言宗の古刹で、本尊は興教大師作の不動明王。「上(かみ)寺」の通称で親しまれ、「孝女お玉」の墓もある。

グラウンド

東小

上尾消防署

東中

ふれあいの里

市や交通
複数
米の
も数
越藩
安政
とん
当時



五街道とは

五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅客、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路のもつ役割や変遷などを確認しながら、今後のより豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

(写真は五街道の起点・日本橋に設置された「道路元標」)



中山道とは

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿69次、全長約135里(約530km)。埼玉県では、戸田から本庄の勅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里(約75km)



の道程です。

「中山道散策マップ」は、中山道にゆかりのある名所・旧跡や見どころなどを広く紹介し、その魅力をあますところなく伝えようとするものです。地図やカラー写真を満載し、実際のウォーキングが楽しめるように構成しました。400年の時代の流れとともに、古きよき時代の中山道の面影に触れることができるでしょう。

中山道まめ知識

旅籠が数多くあったの要地・上尾宿

の脇往還が交差する地点で、積み出しの基地でもあった。市多く立ち、旅籠の数も多く、川土たちもよく遊びに訪れたという。7年(1860)の大火で遺構はほとんど見当たらないが、社寺などでの情景をしのびたい。



国土交通省大宮国道事務所

〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435
TEL 048(669)1205
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/>

平成15年10月初版
平成19年3月改訂
※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵